

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSW ニュース 10月号

2015年10月1日発行

事務局：大浜第一病院

〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 5171

FAX (098) 864 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：鶴淵太郎（沖縄協同病院）

第20回 日本緩和医療学会学術大会 参加報告

琉球大学医学部附属病院 医療福祉支援センター
石郷岡 美穂

初夏を告げる爽やかな海風そよぐ6月、横浜で日本緩和医療学会学術大会が開催された。全国から約7,200名がパシフィコ横浜に参集、私はWITH医療福祉実践研究所、田村里子氏とのご縁でMSWフォーラム『ソーシャルワーカーによる意思決定支援』で発表の機会をいただいた。

フォーラムの座長は前述の田村氏と島根大学病院の太田桂子氏、演者は北里大学病院の早坂由美子氏、国立病院機構まつもと医療センター中信松本病院の植竹日奈氏であった。早坂氏は昨年度、厚労省の「人生の最終段階における医療体制整備等事業」にソーシャルワーカーとして参画した立場で国が「終末期医療」を「人生の最終段階における医療」に名称変更した経緯や、一般国民の意識、例えば人生の最終段階における医療について家族と話し合った経験がある国民は4割に過ぎなかった等、調査結果をわかりやすく解説。更にソーシャルワーカーが当たり前実践してきた自己決定の支援を、倫理的側面をもつ『意思決定支援』と捉え直すことの重要性、我々のアセスメント（患者の意思）が治療方針に生かされるには方法や仕組みづくりに課題があることを共有した。

植竹氏は神経難病領域で患者の自己決定に長年寄り添ってこられた。最も印象深いのは、フロアの質問に答えた時の「ソーシャルワーカーは医学的知識がないのが特徴の仕事」の一言。実は学会前日に参加した講演会で看護職の講師が「意思決定支援は福祉の勉強しかしてこなかったMSWより医療の知識をもった看護師の仕事」と述べられた事への疑問が影響したかもしれない。医療の現場で働く以上は医学的な勉強を続ける努力は言うまでもなく、植竹氏の言葉にはソーシャルワーカーは患者と共に悩み、考え支援する存在でありたい思いが込められている。

私の発表は耳鼻咽喉科外来における意思決定支援の実践報告である。ある男性患者の癌の告知直後から治療～人生最終段階までの間で幾度か意思決定に寄り添った過程で患者の気持ちが変化して

CONTENTS

日本緩和医療学会学術大会 参加報告	1~2
定例会報告	2~3
新入会員紹介	3
運営委員会議事録(8月分)	3~5
運営委員会議事録(9月分)	5~7
研修部から10月の予定	7
コラム・編集後記	8

いったプロセスを表現した一枚のスライドは褒めていただくことができた。

最後に、一流の実践家・研究者・教育者の大集合に「緩和ケアの宝石箱や～」と叫びたかった。全国の臨床家からは、これからも頑張れそうな勇気をいただいた。



平成 27 年度 地域包括ケアシステムに関する研修会に参加して ～地域生活を皆で考えることの大切さ～

嘉手納泉也（大浜第一病院）

秋風が心地良く感じはじめた 9 月 19 日（土）「先進地域から学ぶ在宅医療推進と地域包括ケアの取り組み」をテーマに当協会主催の研修会が沖縄県総合福祉センターゆいホールを会場に開催されました。講師は黒木信之 氏です。長年、三次救急の名古屋第二赤十字病院に勤務され、現職は名古屋市医師会の医療福祉士専門官、愛知県 MSW 協会会長をされています。参加者は MSW をはじめ、ケアマネージャー、医師会職員、介護保険広域連合、訪問看護師、理学療法士など約 90 名近くで、午前は地域包括ケアシステムの総論、午後是在宅療養支援の実際についてグループワークがありました。

午前の講話では、日本の総人口のうち高齢者が約 25%、3,000 万人、全世帯の約 24%が 1 人暮らしであり、2030 年には年間死亡者が約 165 万人で『人口急減社会』になり、国の借金が約 1143 兆円（国民 1 人当たり約 806 万円）で社会保障費が 31.4%を占め、医療費抑制が国家の課題で、2012 年から政府が横断的連携で地域包括ケアシステムに取り組み始めたと述べられました。しかし黒木氏は、ずばり「本質がない。誰の何のためにする施策が見えない」と指摘し、「どのように亡くなっていくか、何が必要なのかを地域で考えなさい」と解釈し、MSW が数十年前から行ってきた地域への退院支援が社会的に具現化された、システム作りの要は MSW である、と強調されました。これには、その通りだと納得した参加者もいたと思います。

一方、国の施策（医療介護総合推進法など）にそって、黒木氏が愛知県で取り組まれた功績に、地区ごとの、在宅医療連携リーダー研修（人材育成）、モデル事業報告会、代表者会議（ネットワーク構築）、在宅医療サポートセンター配置（医療機関ごと）、認知症専門の在宅医システム、地域多職種カンファレンス、地域サロン・カフェ配置、地域講演会の開催、資源マップの作成、など多岐にわたっていました。特に感銘を受けたのが、黒木氏が作成した、「人生の最終段階における自己決定・メディカルエンディングプラン」でした。延命処置や金銭面、家族の判断、療養先を本人がどうしたいかを書面で残すことができます。まだ開発段階とのことですが、将来、医療機関に定着する日が来るだろうと思いました。

午後の部では、普段 MSW が行っている心理社会的支援、退院支援を文章化し説明されました。まず確認すべきは、経済面（財産、通帳、お金の管理はどうしていたのか）、家族の介護力（キーパーソンは誰なのか）、利用できる社会資源（在宅で生活が可能なのか）、と強調されていました。特に、終末期における在宅療養支援では、医療・看護・介護の総合的なアセスメントがソーシャルワーカーに求

められるので、新人 MSW 研修では徹底的に指導しているとのこと。それをふまえ、5 人の 12 グループに分かれて、実際の事例（60 代男性・脊椎腫瘍/肺腺癌）の退院支援の方法をディスカッションしました。10 人十色のアセスメントやプランニングがでて、多職種で色々悩みましたが、重要なのは「チームの合意が得られる、ベターな選択をする過程」と指摘があり、ご本人、ご家族の望む在宅療養（環境）にどう応えていくか、考えさせられました。最後には、入院中から退院後の生活までのドキュメンタリービデオを拝見し振り返りながら、温かい気持ちになりました。

最後になりますが、交流会でも楽しい一面を見せて頂いた、黒木氏に感謝申し上げます。私を含め参加された皆様が、実践現場でよりよい支援を紡いでいくことを楽しみにしています。



新入会員紹介

南山病院 地域医療相談室 池田 聡（いけだ さとし）

皆さま、はじめまして。この度、沖縄県医療ソーシャルワーカー協会に入会致しました、池田聡と申します。以前は群馬県にて、脳神経外科の急性期・回復期病院、総合病院、脳神経外科クリニックで医療ソーシャルワーカーとして従事しておりました。脳卒中や神経難病にかかわり、クリニック勤務の際に認知症患者さまの家族支援を学びたいと考え、現在は南山病院の認知症疾患治療病棟専従ソーシャルワーカーとして勤務しています。今後も自己研鑽を続けていく所存ですので、皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

平成 27 年 8 月 運営委員会 議事録

開催日時：2015（平成 27）年 8 月 17 日（月）18：45～

出席者：樋口（司会）、新垣、伊禮、新城、當銘、望月、香村、奥平、安慶名、島袋（書記）

研修部より：望月（ハートライフ病院）、香村（北中城若松病院）

9 月定例会

日時：9 月 19 日（土）10：00～17：00

場所：沖縄県総合福祉センター 1 階 ゆいホール

講師：黒木信之氏

内容：1 部 講演「名古屋市における在宅医療支援体制構築について」10：00～12：00

2 部 実務者向け研修「地域包括ケアに向けた在宅療養移行支援の実際～在宅療養支援アセスメントシステム～」14：00～17：00

懇親会：18 時半～（場所調整中）

11月宿泊研修

日時：11月7日～8日

講師：竹沢昌子氏 場所：調整中

めだかの放課後 日程調整中

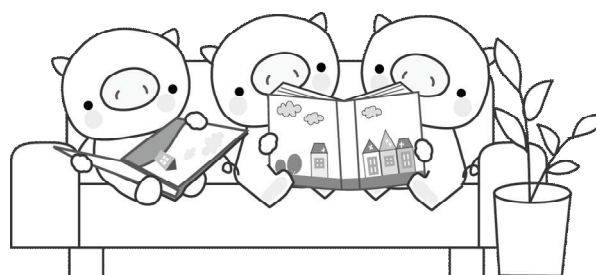
めだかの学校

日時：9月18日(金) 18:30～20:30

場所：ハートライフ病院 2階講堂

対象：MSW協会会員

内容：自己覚知について



広報より：新城（小祿病院）

- ・ 広報紙・・・9月号担当：MSW 島袋（ちゅうざん病院）

社会活動部：

- ・ 県民健康フェア 「一般の方の来場が多く、大盛況だった。」
- ・ ボーリング大会 7月20日 ぎのわんボールにて 「30人の参加」

事務局：當銘（大浜第一病院）

健康づくり運動実践活動団体助成事業助成決定

日程：10月11日

場所：調整中

九州医療ソーシャルワーカー研修会さが大会

3題提出 那覇市立病院・MSW 高江洲 若松病院・MSW 香村 中頭病院 MSW 嘉陽

退会 1名 入会 2名

その他

沖縄県ソーシャルワーカー協議会より沖縄県総合福祉センターへの事務所入居について
要望書提出予定。

11月28日(土) 全国会長会議 九州がんフォーラム 同日

8月18日(火) 19時～21時

平成27年度 中部地区在宅医療連携ネットワーク 第1回研修会

「患者・家族が安心できる在宅を目指して」 日本プライダルセンター

9月5日(土) 13時～17時半 沖縄県医師会館

沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センター主催

「これからの在宅医療を支える人のための研修会～いっぺー上等な担当者会議を目指して～」

9月10日(木) 14時～16時 「平成27年度自死遺族支援研修」

沖縄県立総合精神保健福祉センター

在宅医療連携システム小委員会 フォーム完成し、MSW アクセス可能に。

10月よりスタート予定。

9月8日琉球大学 実習

11月14日～15日 リレーフォーライフ

11月14日 「がんを知ろう」フォーラム 県立中部病院 イオンライカム

9月25日 18時～ 「がん患者の就労支援」 琉大病院

次回理事会：9月14日(月) 18:30～司会：當銘 書記：石郷岡 連絡係：望月

今回の議事
録は



豪華2本立て！
(8月分・9月分あります
ご留意を)

平成27年9月運営委員会議事録

開催日時：2015(平成27)年9月14日(月) 18:45～

出席者：當銘(司会)、樋口、新垣、伊禮、新城、望月、奥平、安慶名、池間、島袋 (書記)

研修部より：望月(ハートライフ病院)

9月定例会

日時：9月19日(土) 10:00～17:00

場所：沖縄県総合福祉センター 1階 ゆいホール

講師：黒木信之氏

内容：1部 講演「名古屋市における在宅医療支援体制構築について」10:00～12:00

2部 実務者向け研修「地域包括ケアに向けた在宅療養移行支援の実際～在宅療養支援アセスメントシステム～」14:00～17:00

懇親会：18時半～ 場所：ばいかじ

10月定例会

平成27年10月14日(水) 14:00～17:00

場所：北中城若松病院

内容：さが大会研究発表予演会

中頭病院 宮城幸之助氏

那覇市立病院 高江洲アヤ子氏

北中城若松病院 香村真範氏

事例検討：事例提供者：川満慎吾氏(ハートライフ病院) パイザー 當銘

めだかの放課後

日時：平成 27 年 10 月 15 日（木）19：00～21：00

場所：中頭病院 2 階会議室

内容： 退院支援デザインの退院時 MSW よりケアマネ苑のフェースシート
さが大会での学習発表内容の確認
その他

11月宿泊研修

日 時：11月7日（土）PM14:00～11月8日（日）12時

講 師：竹沢昌子氏

場 所：なきじん あいあいファーム

内 容：面接技術で調整中 33名宿泊で仮予約
懇親会～あいあいフォームで調整中

めだかの学校

日 時：10月 日（ ）18：30～20：30（内容 調整中）

広報より：新城（小祿病院）

・ 広報紙・・・10月号担当：MSW 鶴淵（沖縄協同病院）

社会活動部：

健康づくり運動実践活動団体助成事業助成

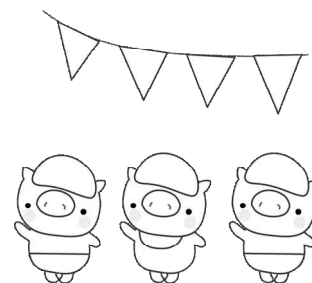
日時：10月10日（土）13～16時

場所：イオン南風原1階（南風原町）

内容：啓蒙活動（クイズ）

リーフレット（2000部）チラシ（300）配布予定

Let's !
運動会！



事務局：當銘（大浜第一病院）

「小規模多機能型居宅介護サービス九州ブロック交流会 in 沖縄」の後援について
承諾

平成 27 年第一回なごみ会（幹事会）懇談会

日時：10月19日（月）19:00～

場所：ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー（白鳳の間）

全国会長会

日時：11月28日～29日

場所：大阪

内容：会長会のあり方等

平成 27 年 10 月応募予定「勇美記念財団助成事業」応募について（案）
テーマ「在宅医療を希望する住民を地域資源に繋ぎ広げる他職種研修会」
応募する

介護人材の確保に関する事業に関して 平成 28 年度事業 応募した
事業の提案を協会に出してほしい
内容：「入退院支援連携デザイン」「医療介護のハンドブック（一般住民版）」（案）

次回理事会：10月19日（月）18：30～司会：又吉 書記：安慶名 連絡係：島袋

研修部の平成 27 年 10 月の予定

定例会

平成 27 年 10 月 14 日（水）14：00～17：00
場所：北中城若松病院 3 階講堂（北中城村字大城 311 番地）
病院の駐車場が満車の場合は中村家の駐車場を利用
内容： さが大会研究発表予演会
中頭病院 宮城幸之助氏
那覇市立病院 高江州アヤ子氏
北中城若松病院 香村真範氏
事例検討：「今後の ADL について家族の理解が得られず
長期入院となった患者のケース」
事例提供者：川満慎吾氏（ハートライフ病院）
スーパーバイザー：當銘由香氏（大浜第一病院）

めだかの放課後

日時：平成 27 年 10 月 15 日（木）19：00～21：00
場所：中頭病院 2 階会議室（沖縄市知花 6-25-5）
内容： 退院支援デザインの退院時 MSW よりケアマネあてのフェースシート
さが大会での学会発表内容の確認
その他

めだかの学校

日時：平成 27 年 10 月 13 日（火）19：00～20：30
場所：南部徳洲会病院（変更になる可能性あり）
内容：障害福祉サービスについて

9月初め、「アパート出ないといけんからさぁー、いい物件教えてちょうだいよー！」と、地域連携室にいらした外来患者さんのSさんとのお話です。

Sさんの希望するお部屋は「生活保護でも入居可 3万2千円以下の家賃！ 2LDK！！ 仏壇が置けるとこ！！！」というものでした。実は7月にも同じ相談内容で連携室に来ていたSさん。その時はインターネットで3件ほどアパートを探し、不動産に行くように案内をしたはず……。

どうなったかを聞くと、「1件目は生活保護だから断られたさー。2件目は仏壇が置けなかったからお断りよー！ 3件目は仏壇入ったけどね、仏壇と部屋の雰囲気合わなくて断ったさぁー」と笑いながら教えてくれました。

2度目の相談ということもあり、生活保護CWへ相談したところ「自分で探させて。もしくは地域包括と一緒に探してもらっては？」とのお返事（65歳以下で介護保険申請していないのに…？）

「またMSWで探しても、同じことの繰り返しになってしまう……！」そう思った私は、独居や生活保護の方の入居相談が出来そうな事業所をご案内。Sさんはその場でお電話してくれました。

Sさん「お部屋借りたいです。生活保護だけ大丈夫ですか？ あっ、大丈夫！ 電話番号は～です。お部屋の広さは……？ ！？ じゃあだめだね～ ガチャっ」とお電話を切りました。

電話を切ってSさんが最初に言った言葉は「1DKだからダメだね～！ 前みたいにアパート探してちょうだい！！」とのこと…。

病院で探すよりも、不動産へ直接相談に行った方が良いのでは、とお伝えしているとSさん、諦めたような、怒ったような…「もういいよ！」と言って帰られました。

もう少し上手な説明の仕方があったのでは、と思い返しております。

それにしても、仏壇とお部屋の雰囲気が合わないことを感じたSさん。きっと私にはない繊細な部分を持っているのだと思います。

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会のホームページ
<http://www.msw-oaswhs.jp/>

編集後記

涼しく感じられる季節になってきたようで、少し気を許せば(四方窓開けっ放し全開で寝るとか)朝方は冷たい風が流れてくる今日この頃、みなさん健康管理いかがでしょうか。私は早速風邪を頂き、貴重な連休がぼっこぼこでした。趣味の料理もする気が起きず、久々に某弁当屋で持ち帰りした海鮮丼とチキンバスケット(10っ個入り)+チョコレート1箱をぺろりとたいらげ栄養補給し、なんとか乗り切っております。みなさまもくれぐれもお体にお気をつけ、カロリー管理もお気を付け下さい。

